学校番号	3010

令和5年度　　情報　　科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高校社会と情報　新訂版（7実教　社情312）						
副教材等	プリント						

1担当者からのメッセージ（学習方法等）

・表計算ソフトやワープロソフト、プレゼンテーションソフトを用い、基礎的なPCの利用について学びます。また画像・動画処理ソフトを用いてコンピュータでの表現について学びます。
・プログラム機能を用いて基礎的なプログラム手続きを学びます。
・情報モラルや著作権についても実例を挙げて学びます。
・実習での取組やその時の課題作品等を重視します。

履修条件
なし

2学習の到達目標

・日常の様々な問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。
・日常の様々な問題を解決するために、プログラミング技術を活用することができる。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信、発信する時の責任を理解したうえで、ネットワークを利用したコニュミケーションを含め、情報社会に積極的に参加し、態度を身に付ける。
・コンピュータのしくみやネットワークのしくみを理解し、それらを適切に活用できる。

3学習評価 評価 規準 と評価方法

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・定期考査の結果 ・実習課題の結果	・学習状況の観察 ・実習課題の結果	・学習状況の観察 ・実習課題の結果	・学習状況の観察 ・定期考査の結果 ・実習課題の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	情報社会とディジタル化	情報や情報社会についての意味 情報の特徴	○			○	a.技術革新が社会や生活の変化に与えた影響を主体的に理解しようとする。 d.情報化の進展が社会を展・充実させてきたことや、それに伴って生じてきた、様々な課題とその解決方法、対処方法を理解できている。	授業観察 定期試験
		ワープロソフト・表計算ソフト・WEBアプリケーションの利用	○	○	○	○	a.各ソフトの特徴や使い分けを理解しようとする。 b.作りたい表や図のために必要なソフトを合理的に組み合わせることができる。 c.各ソフトの特徴や使い方を踏まえ、操作することができる。 d.各ソフトの特徴や操作方法を知り、使い分けができる。	授業観察 実習課題
		静止画像の扱い ベクトルデータとラスターデータ	○	○		○	a.それぞれの画像形式の長所短所や、photoshop、Illustratorの特性を理解しようとする。 b.制作したい画像に合わせて、保存形式やソフトを適切に判断できる。 d.それぞれの画像形式の長所短所や、photoshop、Illustratorの特性を理解している。	授業観察 実習課題
		文字イラストの制作		○	○		b.文字を使用する場所・時間・受け手がどういう人なのかなど様々な視点を持ち、イメージ伝えるために必要な情報を考えることができる。 c.伝えたいイメージに合わせて適切な形や色彩を選択することができる。	授業観察 実習課題
		色のディジタル表現		○		○	b.ディジタルとアナログの色の表現の違いを知り、ポートフォリオ制作に向けてアナログからディジタルへの処理を適切に行うことができる。 d.コンピュータ上での色の表現とディスプレイの見え方の違いについて理解している。	授業観察 定期試験

※　表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c:技能　　d: 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2	問題解決	情報モラル	○			○	a.情報社会で起きている問題点に関心を持ち、自身の生活に生かそうとしている。 d.インターネットにおける不正アクセスやなりすましなどの問題点を理解している。 d.フェイクニュースなどの存在を理解し情報を選別できる能力が身に付いている。	授業観察 定期試験
		プログラミングと問題解決	○	○	○	○	a.プログラミングを通してコンピュータのしくみやソフトウエアのしくみを知ろうとしている。 b.達成したい目標のために、順次・分岐・反復を適切に判断し合理的に物事を思考することができる。 c.動かしたいイメージに合わせて、正しいプログラムを記述することができる。 d.プログラミングの手順を理解し、それを通じて様々な情報端末の仕組みを理解することができる。	授業観察 実習課題
		数値や文字の表し方 2進数の計算				○	d.コンピュータで2進数が使われる背景を理解している。 d.コンピュータでの文字の取り扱いについて理解できている。	授業観察 実習課題 定期試験
		インターネットのしくみと暗号化 インターネットを利用したサービス	○	○			a.インターネットのしくみを理解しようとする。 b.ネットワーク社会の光と影を知り、問題点を思考することができる。	授業観察 実習課題 定期試験
3	情報安全	知的財産権と産業財産権	○	○		○	a.知的財産権と産業財産権について知り、自身の今後の制作に生かそうとしている。 b.著作権などの侵害事例について、どの権利を侵害しているかを適切に判断できる。 d. 著作権と産業財産権における権利の取得の違いを理解できる。 d.著作権の様々な権利を理解している。 d.著作者人格権と著作権（財産権）の違いを理解している。	授業観察 定期試験

※　表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c:技能　　d: 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。